



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日  
東

上場会社名 日東富士製粉株式会社 上場取引所  
 コード番号 2003 URL <https://www.nittofujii.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 佳久  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 坂田 喜章 (TEL) 03-3553-8781  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	43,713	6.0	3,885	20.9	4,173	20.7	2,871	7.1
2019年3月期第3四半期	41,228	13.5	3,214	48.4	3,458	43.2	2,680	45.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,931百万円(13.4%) 2019年3月期第3四半期 2,585百万円(△4.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	627.10	—
2019年3月期第3四半期	585.34	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	49,429	36,668	74.1
2019年3月期	47,969	34,834	72.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 36,615百万円 2019年3月期 34,778百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	90.00	—	130.00	220.00
2020年3月期	—	106.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	98.00	204.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,000	3.8	4,100	△1.5	4,500	0.8	3,100	△7.7	677.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	4,692,364株	2019年3月期	4,692,364株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	113,731株	2019年3月期	113,568株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	4,578,710株	2019年3月期3Q	4,579,177株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「添付資料」3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、中期経営計画「Next Future 2020」を策定し、事業戦略として「新しい市場へ」「新しい商品へ」「新しい分野へ」を掲げ、特色ある製品の開発や、美味しさと健康を基軸とした商品開発に取り組んでおります。2018年11月にタイに設立したNitto Fuji International(Thailand)Co.,Ltd.(ミックス粉の製造・販売)は、2020年1月以降の本稼働を予定しております。

当社グループの第3四半期は、当社及び子会社の業績が堅調に推移したため、売上高は437億1千3百万円(前年同期比6.0%増)となりました。利益面では、引続き全社一丸となり生産性向上・原価低減に注力したことに加え、副製品であるふすま価格が堅調に推移した結果、経常利益41億7千3百万円(前年同期比20.7%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期の子会社株式売却益の反動減があったものの28億7千1百万円(前年同期比7.1%増)となりました。

(前年同期間比)

(単位:百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	41,228	43,713	2,484	6.0%
営業利益	3,214	3,885	671	20.9%
経常利益	3,458	4,173	714	20.7%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	2,680	2,871	190	7.1%

〔セグメント別営業概況〕

## ①製粉及び食品事業

(単位:百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	36,215	37,861	1,645	4.5%
営業利益	2,962	3,561	598	20.2%

「製粉及び食品事業」につきましては、昨年4月と10月に外国産小麦の政府売渡価格がそれぞれ平均1.7%、8.7%引き下げられたことにともない、当社においても小麦粉製品の価格改定を行いました。売上高は、当社及びグループ各社の業績が堅調に推移したため、前年同期比4.5%増の378億6千1百万円となりました。営業利益は、グループ各社との連携強化や、コスト低減等の自助努力に加え、副製品であるふすま価格が堅調に推移し、35億6千1百万円(前年同期比20.2%増)となりました。

## ②外食事業

(単位:百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	4,902	5,735	833	17.0%
営業利益	83	167	84	101.7%

「外食事業」の㈱さわやか(当連結対象期間1月～9月)につきましては、主力のケンタッキーフライドチキン店のキャンペーンによる販売が好調だったため、売上高は前年同期比17.0%増加し57億3千5百万円となりました。営業利益は、増収に伴う売上総利益の増加により、1億6千7百万円(前年同期比101.7%増)となりました。

## ③運送事業

(単位:百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	1,567	1,575	8	0.6%
営業利益	143	132	△10	△7.5%

「運送事業」の日東富士運輸㈱につきましては、売上高は、前年同期比0.6%増加し15億7千5百万円となりました。営業利益は、配送の効率化や経費削減努力を行いました。営業拠点の新設や車両の買い替えに伴う経費の増加により、1億3千2百万円(前年同期比7.5%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2019年3月期	2019年12月期	比較
流動資産	22,930	24,108	1,177
固定資産	25,038	25,321	282
資産計	47,969	49,429	1,459
流動負債	9,323	9,167	△156
固定負債	3,811	3,594	△216
負債計	13,135	12,761	△373
純資産	34,834	36,668	1,833
負債・純資産計	47,969	49,429	1,459

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりです。

当第3四半期連結会計期間末の当社グループの総資産は、前連結会計年度末に比べ14億5千9百万円増加し、494億2千9百万円になりました。

流動資産は241億8百万円で、短期貸付金（キャッシュ・マネジメント・システムによる実質的な現金及び現金同等物）、受取手形及び売掛金が増加した一方、原材料及び貯蔵品が減少したこと等により、前年度末に比べ11億7千7百万円増加しました。固定資産は253億2千1百万円で、有形固定資産の増加等により、前年度末に比べ2億8千2百万円増加しました。この結果、資産合計は494億2千9百万円となり、前年度末に比べ14億5千9百万円増加しました。

流動負債は91億6千7百万円で、未払法人税等が減少した一方、支払手形及び買掛金が増加したこと等により、前年度末に比べ1億5千6百万円減少しました。固定負債は35億9千4百万円で、長期借入金の減少等により、前年度末に比べ2億1千6百万円減少しました。この結果、負債合計は127億6千1百万円となり、前年度末に比べ3億7千3百万円減少しました。

純資産は利益剰余金の増加等により、前年度末に比べ18億3千3百万円増加し、366億6千8百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.6%増加して74.1%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

「製粉及び食品事業」につきましては、国内市場は少子高齢化の進行や、人口減少による需要の後退が販売競争を一段と激化させ、更にTPP11 および日欧EPA への対応等、この先も難しい事業運営が予想されます。これらに備え競争力を更に強化する必要があります。

「外食事業」では、業界内での競争激化と消費者の節約志向が続くなか、各店舗に合わせた効果的な事業運営が必要とされています。また、消費者の食の安全・安心に対する意識も一段と高まっており、これに応える店舗運営にも注力してまいります。

当社グループを取り巻く環境は今後更に厳しくなることが予想されますが、「原料調達・製造・販売・開発・物流」が一体となり、徹底した効率の追求と競争力の強化に取り組むとともに、三菱商事グループ各社との連携強化や、㈱増田製粉所との開発・営業面でのシナジー効果をさらに増加させることにより業績拡大に向けて最大限努力してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,640	1,059
受取手形及び売掛金	8,427	9,386
商品及び製品	2,356	2,351
原材料及び貯蔵品	6,236	5,507
短期貸付金	3,736	5,306
未収還付法人税等	—	18
その他	540	486
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	22,930	24,108
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,552	5,236
機械装置及び運搬具(純額)	3,316	3,121
土地	4,838	4,842
その他(純額)	760	646
有形固定資産合計	13,468	13,847
無形固定資産		
のれん	92	87
その他	614	520
無形固定資産合計	707	607
投資その他の資産		
投資有価証券	8,013	8,109
退職給付に係る資産	1,848	1,763
繰延税金資産	115	112
その他	947	937
貸倒引当金	△61	△57
投資その他の資産合計	10,862	10,866
固定資産合計	25,038	25,321
資産合計	47,969	49,429

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,682	5,460
短期借入金	500	500
1年内返済予定の長期借入金	336	336
リース債務	0	0
未払法人税等	1,076	327
賞与引当金	468	225
役員賞与引当金	38	22
その他	2,220	2,294
流動負債合計	9,323	9,167
固定負債		
長期借入金	252	—
繰延税金負債	2,496	2,605
役員退職慰労引当金	148	72
退職給付に係る負債	307	308
資産除去債務	419	423
リース債務	5	4
その他	181	179
固定負債合計	3,811	3,594
負債合計	13,135	12,761
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,500	2,500
資本剰余金	4,049	4,049
利益剰余金	24,850	26,640
自己株式	△290	△291
株主資本合計	31,108	32,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,593	3,650
為替換算調整勘定	49	55
退職給付に係る調整累計額	26	10
その他の包括利益累計額合計	3,669	3,717
非支配株主持分	56	52
純資産合計	34,834	36,668
負債純資産合計	47,969	49,429

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	41,228	43,713
売上原価	31,166	32,620
売上総利益	10,062	11,093
販売費及び一般管理費		
販売手数料	449	436
販売運賃	1,833	1,844
貸倒引当金繰入額	2	△1
給料及び手当	1,682	1,790
賞与引当金繰入額	101	110
役員賞与引当金繰入額	26	22
退職給付費用	33	57
役員退職慰労引当金繰入額	19	15
その他	2,699	2,931
販売費及び一般管理費合計	6,847	7,207
営業利益	3,214	3,885
営業外収益		
受取利息	6	8
受取配当金	103	115
固定資産賃貸料	45	138
その他	122	61
営業外収益合計	277	324
営業外費用		
支払利息	6	4
支払補償費	5	12
海外子会社駐在員に係る源泉所得税負担額	4	6
その他	16	13
営業外費用合計	33	36
経常利益	3,458	4,173
特別利益		
固定資産売却益	4	2
投資有価証券売却益	488	0
特別利益合計	493	2
特別損失		
固定資産売却損	4	—
固定資産除却損	24	32
減損損失	23	6
その他	0	0
特別損失合計	52	39
税金等調整前四半期純利益	3,899	4,136
法人税、住民税及び事業税	1,054	1,158
法人税等調整額	148	92
法人税等合計	1,203	1,251
四半期純利益	2,696	2,885
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,680	2,871
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	13

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	56
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	△30	5
退職給付に係る調整額	△73	△16
その他の包括利益合計	△111	46
四半期包括利益	2,585	2,931
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,570	2,919
非支配株主に係る四半期包括利益	15	12

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額
	製粉及び 食品事業	外食事業	運送事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,202	4,901	124	41,228	—	41,228
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	0	1,442	1,456	△1,456	—
計	36,215	4,902	1,567	42,685	△1,456	41,228
セグメント利益	2,962	83	143	3,189	24	3,214

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外食事業」セグメントにおいて、収益性が低下しており、将来キャッシュ・フローがマイナスと見込まれる店舗資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において23百万円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額
	製粉及び 食品事業	外食事業	運送事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	37,852	5,734	126	43,713	—	43,713
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	1	1,449	1,459	△1,459	—
計	37,861	5,735	1,575	45,172	△1,459	43,713
セグメント利益	3,561	167	132	3,862	23	3,885

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外食事業」セグメントにおいて、収益性が低下しており、将来キャッシュ・フローがマイナスと見込まれる店舗資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において6百万円であります。